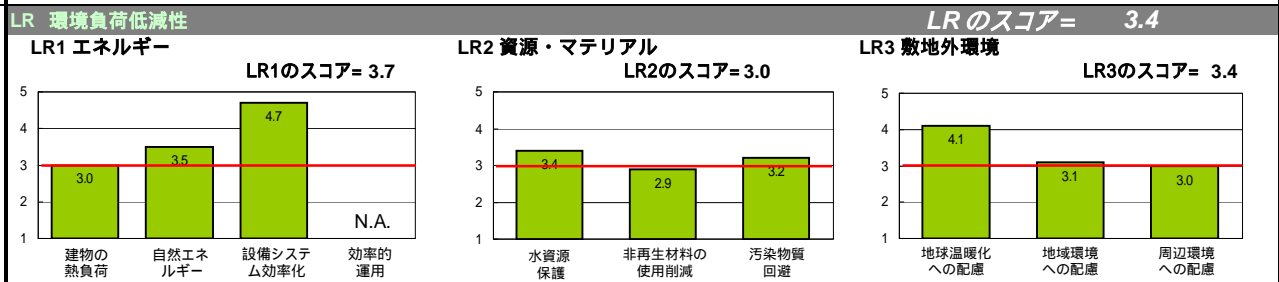
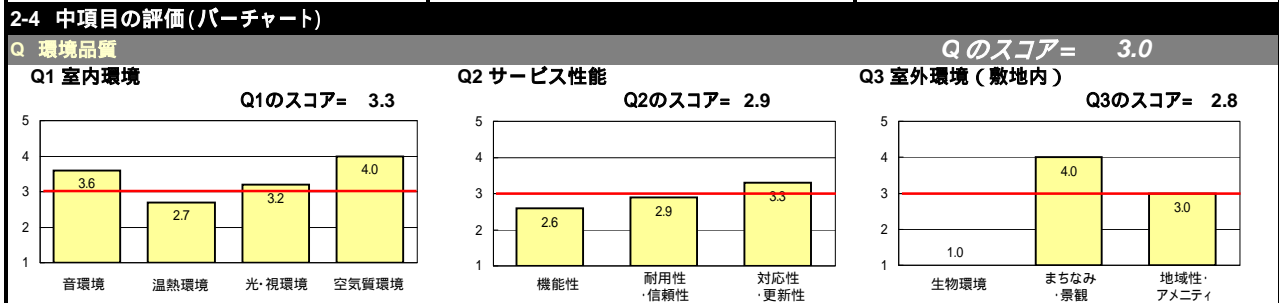
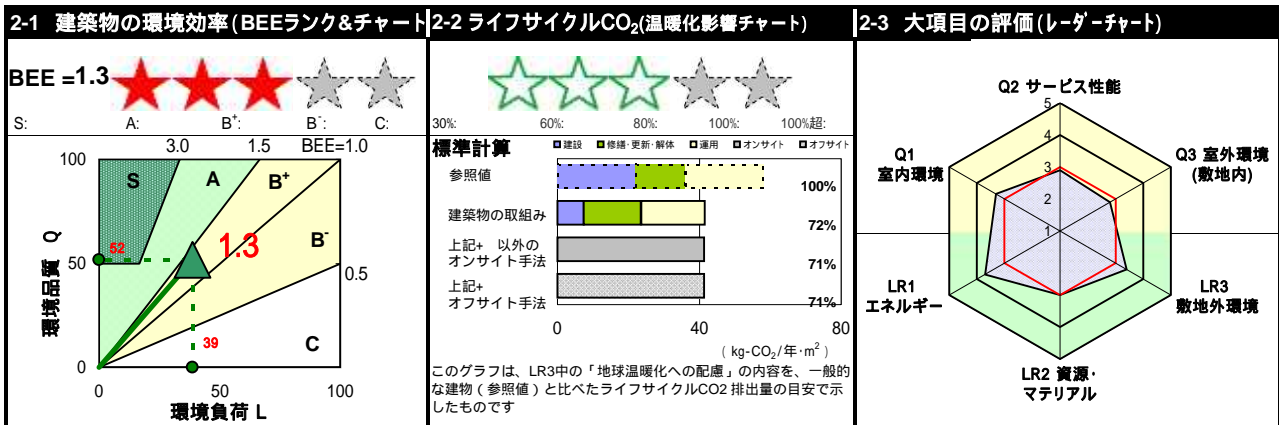


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ザ・パークハウス茅ヶ崎	階数	地上14階
建設地	(地番)神奈川県茅ヶ崎市5446-1	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	630人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2013年9月 予定	評価の実施日	2011年12月5日
敷地面積	2,991 m ²	作成者	東急建設株式会社
建築面積	1,369 m ²	確認日	
延床面積	14,277 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項	
総合 共同住宅としての居住性能は当然のことながら、省エネルギー効果の高い機器や、太陽光発電を採用し建物の価値を高めている。また、敷地内に多くの緑地や公開空地を設ける事で居住者、近隣住人に対して良好な環境形成を目指している。	その他 0
Q1 室内環境 重量衝撃音、軽量衝撃音、隔壁遮音性能について十分に検討し、必要な性能を確保している。	Q2 サービス性能 構造全体に使用されている材料に着目して、劣化を軽減する対策を講じ、住宅性能評価 3劣化の軽減にて等級3を取得している。
LR1 エネルギー 住宅性能評価 省エネルギー対策等級3の確保、共用部LEDの採用、太陽光発電の採用などの省エネルギー対策を講じている。	LR2 資源・マテリアル 節水器具の採用、リサイクル資源の活用を行い、資源の節約寄与している。
	Q3 室外環境 (敷地内) 敷地面積に対し、20%以上の緑化を設ける事で、生物環境の向上、敷地内温熱環境の向上を図っている。
	LR3 敷地外環境 適切な駐車場、バイク置場、駐輪場台数を確保し、居住者の利便性の向上を図っている。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい